

はじめに

「英作文」ってなんでしょう？

まず、次の日本語を読んでください。

「人生、その気になれば、なんとでもなる」

私たちは日本人ですから、この文の言っている内容はすぐに理解できます。では、これを英文に変換してみましょう。

「人生」は life で、「その気になれば」は if... 「もし…ならば」を使って…でも「その気」って何だ？「なんとでもなる」は、どうすりゃいいんだろ？と、こんな感じになりませんか。どう英文にすればいいのか、悩むのではないのでしょうか。

ヘンですよ。日本語の伝えている内容はバツとわかるのに、英文にしようとするとなんで悩んでしまう。どうしてだろう？

私たちは「発想の仕方」を学んでいないのではないだろうか？

「人生、その気になれば、なんとでもなる」は、とくに難しい単語は使わずとも英語で書けるはず。でも、どうすりゃいいのかわからない。「英作文」ってなんでしょう？

「日本語の〈単語〉を英文に変換する」のではなくて

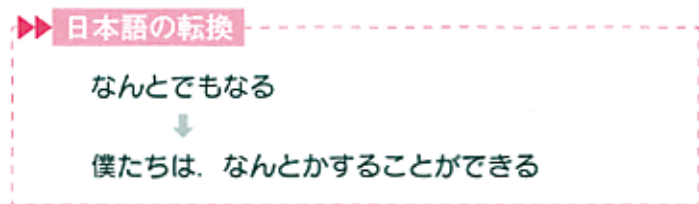
「日本語の〈内容〉を英文に変換する」こと。

「人生」「その気」「なれば」「なんとでも」「なる」という単語の変換をしようとする、うまくいかない。そうではなく、日本人の僕たちが「バツとわかる」内容を、英文に変換すればいいのではないですか。そうするばあい「発想の仕方」を知っていることが大切。「〈内容〉をどのように英文に変換するのか」を学んだ経験が必要です。さて、こういうことを踏まえて、もう一度。どう変換しましょうか。

「人生、その気になれば、なんとでもなる」

「なんとでもなる」に着目してみましょう。ここが日本文の〈述部〉です。英文に変換するとき、もっとも大切なのは「述部から考えていく」ということです。述部から英文を組み立てる手がかりをさぐります。

それと同時に、〈主語〉をチェック。いっけん「人生」が主語で、「人生は、なんとでもなる」でひとつの文のようです。ところが、このまま英文にしようとする、さっきも見たように、うまく行きそうにない。そこで、発想を変える。主語を〈人〉にしてみる。人を主語にすることで、英文がシンプルで書きやすくなることが多いのです。すると「なんとかなる」ではなくて「なんとかなることができる」となる。発想の仕方として「述部をチェックしたうえで主語を考える」そして「主語はできるなら人にする」というちょっとしたコツを押さえておきます。次のようにまとめてみます。



こう考えれば、英文に変換しやすそうです。

では、「なんとかなることができる」をどう英文にしましょうか？

「コンテキスト(context)」が必要。

コンテキストとは、前後の文の「つながり」です。大学入試の英作文の問題は、必ずと言っていいほど「ひとつのまとまった文章」で出題されます。それは、英文に変換するには、その文が「どういう状況で述べられているか」が、とっても大切になるからです。私たちは、前後の文の「意味のつながり」から内容を理解しています。

「人生、その気になれば、なんとでもなる」を英文に変換するばあいにも、この文が「どういう状況で述べられているか」がカギになるはずです。

では、入試問題っぽく加工した例で見てもらいましょう。

下線部を英訳せよ。

うちの父は会社を経営していたが、不況のあおりを受けて倒産させてしまったことがある。しかし、その後3年で新しい会社を興し、今では売り上げが前の会社を上回るに至った。父の口癖が「人生、その気になれば、なんとでもなる」である。

「人生、その気になれば…」の内容を考えやすくなりました。前後の文のつながり、つまりコンテキストのおかげで日本語の〈内容〉をさらにつかみやすくなったわけです。この文章の状況なら、「なんとでもなる」を「困難を乗り越えられる」、「問題を解決できる」といった内容で読み取れそうではないかな。「下線部以外の文との連携」で意味を考えていくのも、大切な「発想の仕方」です。

▶▶ 日本語の転換

なんとでもなる



僕たちは、なんとかすることができる



僕たちは、問題を解決できる

僕たちは、困難な状況を乗り越えられる

こんなふうにして、僕たちがなんとなく「読み取っている内容」を英文に変換していくわけです。では、英文にした例を見てください。

▶▶▶ 英語への変換

- ・ we can solve any problem
- ・ we can get over any difficulty

ここで any という言葉を使ってみました。「どんな…でも」です。「どんな問題だって解決できるさ」「どんな困難だって乗り越えられるぜ」というわけです。もう少し any について説明します。any 以外の表現もついでにチェック

も く じ

PART1 転換発想の考え方	11
① 人を主語にできないか考えてみよう	12
② people を活用して一般論を表そう	19
③ 「4人に1人」は25%で表せます	23
④ 日本文の内容を英語に変換する考え方を学ぼう	26
⑤ 「真正面から」は英訳しなくてOK	34
⑥ 関係詞節を上手に活用しよう	40
⑦ 「また美しい音を奏でる」はどんな状態なのかを考えよう	47
⑧ 「他者とのコミュニケーション」はどう英文に変換するか?	52
⑨ 述部「質問を受ける」から主語を考えてみよう	59
⑩ 下線部の時制をまわりの英文から考える	69
⑪ 「忙しくてなにもできなかった」は矛盾した日本語	74
⑫ 「内容が洗練されている」とはどういうことなのか?	81
⑬ 「お茶を濁す」は「はっきり言わない」の意味	88
⑭ 伝えるべき最も大切な内容から考えよう	98
⑮ 比較表現は論理的に考えて使おう	104
⑯ 比較級でなくても比べる場合は論理的に考えて	110
⑰ まず全体の骨格を英文にしよう	114
⑱ 日本語では「なんとなく伝わる」ことを丁寧に英語にする	124
PART2 短文英作文	131
【参考】	
PART1 の全文英訳例	173